

SWEST15 アンケート集計結果 回答数 60名(配布数 166枚)

1. SWEST 全体についてのご感想

1.1 参加していかがでしたか

- | | |
|-----------|-----|
| a. 満足 | 3 6 |
| b. まあまあ満足 | 2 1 |
| c. ふつう | 2 |
| d. 今一つ | 0 |
| e. 不満足 | 0 |

1.2 SWESTの何に一番満足されましたか

- | | |
|------------|-----|
| a. 基調講演 | 8 |
| b. プログラム | 1 8 |
| c. ポスター発表 | 6 |
| d. 参加者間の交流 | 3 8 |
| e. その他 | 0 |

b. について ●は人気あったもの

ワークショップによる開発プロセスの振り返り/mrubyによる組み込み開発のメリット /HAZOP
 インストラクショナルデザインによるチームビルディング ~LED-Campでの実践結果~
 何が嬉しい?何が変わった?MISRA-C: 2012 いま、なぜ、モデル駆動開発なのか?

プロダクトライン開発の本質 ~その様々な開発形態の共通性と可変性~

振り返りもカイゼンする!実践的 振り返り手法の提案/メニーコア/ネットワークオンチップの基礎と組み込みシステムへの応用/●アジャイル開発とスクラム~顧客・技術・経営をつなぐ協調的ソフトウェア開発マネジメント/組み込みメニーコアに向けたOSと制御アプリ並列化/●チームメンバーの繋げ方~チームを作るスキルと原則

1.3 SWEST の開催をお知りになったきっかけは

- | | |
|---------------|---------------------|
| a. メーリングリスト | 1 2 (SWEST, ETロボコン) |
| b. 実行委員から直接 | 1 0 |
| c. 上司、同僚からの紹介 | 3 1 |
| d. その他 | 6 |

その他の内訳

実行委員の会社から、LED-Campのリンク、WEBページ、Facebook、組み込みEXPO

1.4 SWEST の参加目的をお教えてください(複数回答可)

- | | |
|-----------------|-----|
| a. 人(産学、産産)との交流 | 3 5 |
| b. 自己啓発 | 2 4 |
| c. 議論等の情報交換 | 2 1 |
| d. 情報収集 | 2 4 |
| e. 成果発表 | 1 2 |
| f. その他 | 0 |

1.5各セッションの発表資料をPDFで先行公開いたしました、利用されましたか

- | | |
|------------|-----|
| a. 利用した | 4 2 |
| b. 利用していない | 1 7 |

1.6 予稿集及びポジションペーパーの電子化を本年より行いましたが、不都合はありましたか

- | | |
|-------|-----|
| a. ある | 6 |
| b. ない | 5 2 |

aの理由

同室の人のポジションペーパーだけでも印刷して欲しかった
 当日、読めなかった
 自宅にプリンタが無く、印刷するのに苦労した
 紙の方が参照しやすい、ポジションペーパーを話題にしやすい
 PDFのほうがよい

bの理由

事前にダウンロードしないで重い紙を持ち歩くのは嫌
 スマホで読めると良い

スマホでも読めるから移動時間に読めるので有難い

1.7 SWEST の参加費はいかがでしたか。

- | | |
|-------|-----|
| a. 適当 | 4 8 |
| b. 高い | 7 |
| c. 安い | 4 |

いくらぐらいが良いか (1万、1.5万、2万)

1.8 SWEST参加費の負担はどなたでしょうか？

- | | |
|-----------|-----|
| a. 所属組織負担 | 4 9 |
| b. 自己負担 | 1 0 |

1.9 SWEST会場および地域はいかがでしたか。

- | | |
|-----------|-----|
| a. 満足 | 3 5 |
| b. まあまあ満足 | 1 7 |
| c. ふつう | 5 |
| d. 今一つ | 2 |
| e. 不満足 | |

cの理由

下呂は毎年あついです。遠い

距離が遠い、交通費がネックで学生をつれてこれなかった

dの理由

遠い。新幹線から乗り換えない駅がよい。交通の便が悪い

1.10 DAシンポジウムと連続開催でしたがいかがでしょう

- | | |
|-----------|-----|
| a. 満足 | 5 |
| b. まあまあ満足 | 0 |
| c. ふつう | 3 2 |
| d. 今一つ | 0 |
| e. 不満足 | 0 |

知らない、参加してない

1.11 Twitter (@SWEST_JP) にて、開催前よりご案内をTweetしましたが、見られましたか

- | | |
|-----------|-----|
| a. 閲覧した | 1 1 |
| b. フォローした | 4 |
| c. RTした | 3 |

知らない、みてない

1.12 Twitterの活用方法についてご意見があればお聞かせください

Twitterを使うなら講演中にWifiの使用を避けるアナウンスは無くした方がいい

1.13 FacebookのSWESTコミュニティにて、開催前よりご案内を投稿しましたが、みられましたか

- | | |
|-------------------|------------------|
| a. 閲覧した | 8 |
| b. いいね！した | 3 |
| c. してない、みてない、知らない | 3 (勝手に項目をつくってある) |

2. ポジションペーパーについて

2.1 ポジションペーパーは役に立ちましたか

- | | |
|--------|-----|
| a. はい | 3 9 |
| b. いいえ | 1 5 |
| c. その他 | 3 |

・知らない、見なかった

2.2 ポジションペーパーをPDFで先行公開いたしました。利用されましたか

- | | |
|------------|-----|
| a. 利用した | 3 7 |
| b. 利用していない | 1 8 |

2.3 ポジションペーパーの活用方法についてご意見

- ・全員強制にしたほうがよいと思う、申込みと同時とか
- ・名刺サイズのものを作って、見せる、配る
- ・同室の方々の内容を話題にできた (話すきっかけになった)
- ・A4より名刺に20文字ぐらいで何か書くのがよいのでは
- ・興味ある、質問、コンタクトしたい人を事前にピックアップできる
- ・WORDで提出が面倒, Webから入力できる程度が良い

3. ポスタセッションについて

3.1 ポスタ発表はいかがでしたか

- | | |
|-----------|-----|
| a. 大変良かった | 1 0 |
|-----------|-----|

- | | | |
|--------|----|--|
| b.良かった | 30 | |
| c.ふつう | 14 | |
| d.今一つ | 1 | |
| e.不満足 | 0 | |
- 3.2ポスター発表の時間は適切でしたか
- | | | |
|------|----|--------------------------|
| a.長い | 4 | |
| b.適切 | 48 | |
| c.短い | 4 | 適切な時間 1時間、1.5時間、1日目だけで良い |
- 3.3 DAシンポジウムと合同のポスターセッションといたしましたが、いかがでしたか
- | | |
|----------|----|
| a.大変良かった | 2 |
| b.良かった | 11 |
| c.ふつう | 29 |
| d.今一つ | 0 |
| e.不満足 | 0 |
- 3.4 ポスターセッションについてご意見
- ・今の感じでよい
 - ・DASシンポジウムのポスターはもう少し盛り上げる工夫が必要かと
 - ・DAシンポジウムと同日でもOK
 - ・理想論ばかり並べてあり、現実（組込みのドロクさいところ）が見えていない、よってこれらでは成功しない
4. 各セッションの感想
- a満足 bまあまあ満足 cふつう d今一つ e不満足

SWEST/DAS 共同基調講演

「モデルベースシステムエンジニアリングとSysMLの活用」

aの理由

M&SEとSysMLについてキーとなるポイントを知る事が出来たと思う

bの理由

概要が理解できた

現状のニーズに合致したため

UMLとの差が良くわからなかった

二元V字モデルは興味深い内容だった。SysMLはUMLを要求で活用するように受け取れたが、それが理解しやすくなったとは思えなかった

SysMLの活用経験が無かったので、利用したいという動機づけになった

UMLの拡張と思いますが、より良い部分に分かりにくかった

dの理由

期待していたほどの内容ではありませんでした。考える為のツールとして良いのか、シュミレーションまで含めて、微効果が出るのか？

「組込み技術者向け教育のモチベーション:LED-Campよもやま話」

セッション名	a	b	c	d	e
SWEST/DAS 共同基調講演 「モデルベースシステムエンジニアリングと SysML の活用」	1 2	1 3	1 0	2	
「組込み技術者向け教育のモチベーション:LED-Camp よもやま話」	6	6	5		
「 良い開発文書を書く為の拡散思考・収束思考トレーニング」	5	7	3	2	
「ワークショップによる開発プロセスの振り返り」	2				
「NET Micro Framework 実践紹介」	2	4	1		
「何が嬉しい？何が変わった？MISRA-C:2012」	9	3	3		
「実践！機能安全～Safety Concept を作ろう！」	8	1			
「mruby による組込み開発のメリット」	7	5			
「インスタラクショナルデザインによるチームビルディング」	2	6	2	3	
「名古屋大学組込みシステム研究センターの AUTOSAR に対する取組み」	2	4	2	2	
「ソフトウェアメトリクス関連」	3	5	4		
「プロダクトライン開発の本質～その様々な開発形態の共通性と可変性～」	9	3			
「振り返りもカイゼンする！実践的振り返り手法の提案」	6	3			
「メニーコア/ネットワークオンチップの基礎と組込みシステムへの応用」	4	1			
「アジャイル開発とスクラム～顧客・技術・経営をつなぐ協調的ソフトウェア開発マネジメント」	1 3	4	2		
「組込み開発者の為の IT セキュリティーの基礎」	2	3	1		
「いま、なぜ、モデル駆動開発なのか？」	5	2	3		
「組込みメニーコアに向けた OS と制御アプリ並列化」	7	1	5		
「チームメンバーの繋げ方～チームを作るスキルと原則～」	1 1	3			
「HAZOP」	2	3	1		
「組込み実践教育」		3	1		

bの理由

高田先生のお話が面白かった
楽しかったが、収束思考ができなかった
途中参加となってしまった為
お酒もあり、議論が発散していたが様々な意見が聞けてよかった
cの理由

ぐだぐだしていたが、後半の議論はなかなか良かったと思う
早い段階で場が発散してしまっていた。また、顔見知りの内での質問、野次が飛び交い、部外者
が入り込みにくい感じだった
話の内容は良かったと思います。もう少し静かであれば・・・

「良い開発文書を書く為の拡散思考・収束思考トレーニング」

aの理由
楽しくブレインストーミングできました
bの理由
ざっくりばらんな感じでよかった。内容も参考になることがあった
ゆったりと取り組めたので楽しかった
cの理由
AsDoqのことをもっと聞きたかった

「ワークショップによる開発プロセスの振り返り」

aの理由
時間は長かったが、有意義な議論ができたので

「NET Micro Framework実践紹介」

bの理由
リアルタイム性への課題が解決することを期待している

「何が嬉しい？何が変わった？MISRA-C:2012」

aの理由
事例や背景等もふまえて知る事ができたので、とても有意義だったと思う
cの理由
MISRA-C2004を知らないのでもまいち理解できなかった

「実践！機能安全～Safety Conceptを作ろう！」

aの理由
具体的な考えがわかった
dの理由
時間が短いのでしかたがないが、断片的すぎて自分の関係しているところと距離感があった

「mrubyによる組み込み開発のメリット」

aの理由
mrubyの概要が非常に分かりやすく興味を持てた
試みが面白かった。ただ性能は期待出来ないとのことで、実用性はあまりなさそう。
bの理由
説明が分かりやすかった

「インスタラクショナルデザインによるチームビルディング LED-Camp での実践結果」

aの理由
ID (ISD) を実践的に利用していて良かったです。(わかりやすくなっていた)
bの理由
LED-Campでの事例が駆足となった
もう少しまとめや検討に時間を割いて欲しかった
dの理由
IDの必要性は分かった(一般論) LED-Campの実践結果はわからなかった
いまいち内容がまとまっていなかった
準備が間に合わなくて全体的に・・・

「名古屋大学組み込みシステム研究センターのAUTOSARに対する取組み」

bの理由
現状がわかって良かった
dの理由
表面的にまとまってしまった感じ。AUTOSARの良い所、ダメな所をもっと教えてほしかった

内容に興味を持たず睡魔に負けた

「ソフトウェアメトリクス関連」

aの理由

新しい知見となりました

「プロダクトライン開発の本質～その様々な開発形態の共通性と可変性～」

aの理由

PLEのきもがわかった

PLEについての気づきを得る事が出来た。今後はまた異なる視点でも考えられるようになれそう
プロダクトラインの本質について、理解が進みました。わかり易く楽しいセッションでした

bの理由

内容が分かりやすかった

今まで試行錯誤して共通開発/流用開発

「振り返りもカイゼンする！実践的振り返り手法の提案」

a+の理由

振り返りをプロセスに反映したいというニーズはあったが、コンセンサス形式に有利な手法を教えて貰えて、期待以上のものを持ち帰れそうな実感があるため

aの理由

現場での振り返りは表面的ななりがちなため、今回の手法を取り入れてみたいと思う

bの理由

仕事で使えないか検討してみます

「メニーコア/ネットワークオンチップの基礎と組み込みシステムへの応用」

「アジャイル開発とスクラム～顧客・技術・経営をつなぐ協調的ソフトウェア開発マネジメント」

aの理由

プレゼン者がうまい。内容も非常にわかりやすかった

SCRUMについて勉強中だったので参考になりました

非常に分かり易く面白かったです。紹介してもらった本も探して読んでみます。仕事にいかせるように

bの理由

興味のある話題と興味のない話題が半々だった

理解しやすく、深く学んでみようと思った。ちなみに初心者です。

cの理由

分かりやすい話だったが、少し内容が薄かったように思います。もっとたくさんの成功/失敗事例を紹介して欲しかった

途中参加となってしまった為

「組み込み開発者の為のITセキュリティの基礎」

「いま、なぜ、モデル駆動開発なのか？」

bの理由

実際の仕事を通して得たモデル駆動開発に関するあれこれを聞く事ができた。ただ、なぜ今モデル駆動なのかについては知る事ができなかったのも、ちょっと残念

ハッと気づかされる場所があった。モデル作成が怖いというのがハッとしたところ

モデルを描く事への壁のお話はとても共感した。クワッドローターも興味あります

cの理由

もっとモデル駆動開発の内容や必要性が知りたかった

「組み込みメニーコアに向けたOSと制御アプリ並列化」

「チームメンバーの繋げ方～チームを作るスキルと原則～」

aの理由

ワークショップ形式で面白かった。持ち帰れるものも多かった

とにかく、ワークが楽しい。感情面での気づきがあった。

身近な目標に対してすぐ会社で使えそうで良かったです

bの理由

実践的な手法で試してみたいと感じました

「HAZOP」

aの理由

最初は良くわからなかったですが、ワークを通して段々とわかるようになった気がします

bの理由

品質問題の対策として取り入れたいと思いました

「組込み実践教育」

bの理由

ワークショップ形式で体験的に学習できた

- 4.2 次回以降、参加したいセッションテーマがありましたらお聞かせください
低消費電力

5. その他

5.1 あなたの職種についてお聞かせください。

- | | |
|-----------------|----|
| a. 経営者 | 1 |
| b. 管理者 | 5 |
| c. 大学教育関係者 | 4 |
| d. 開発プロジェクトリーダー | 3 |
| e. システム設計 | 0 |
| f. ハードウェア設計・開発 | 0 |
| g. LSI設計・開発 | 2 |
| h. ソフトウェア設計・開発 | 28 |
| i. 生産管理 | 0 |
| j. 商品企画 | 0 |
| k. 研究職 | 1 |
| l. 学生 | 8 |
| m. その他 | 5 |

その他の内訳

無職、品質エンジニア、マーケティング

5.2 企業から参加された方へ。あなたの担当分野についてお聞かせください。

- | | |
|--------------|----|
| a. パソコン・周辺機器 | 1 |
| b. AV機器 | 2 |
| c. 娯楽・教育機器 | 4 |
| d. 個人用情報端末機器 | 0 |
| e. 家電機器 | 2 |
| f. OA機器 | 1 |
| g. 通信用情報端末機器 | 2 |
| h. 設備機器 | 3 |
| i. 自動車・運輸機器 | 11 |
| j. FA機器 | 3 |
| k. 医療機器 | 2 |
| l. 基本ソフトウェア | 4 |
| m. 開発ツール関連 | 5 |
| n. その他 | 5 |

その他の内訳

品質改善、セキュリティーソフト、様々な技術（受託なので）、通信システム・開発

5.3 あなたの年齢についてお聞かせください。

- | | |
|----------|----|
| a. 18~24 | 7 |
| b. 25~29 | 11 |
| c. 30~34 | 12 |
| d. 35~39 | 9 |
| e. 40~44 | 10 |
| f. 45~49 | 5 |
| g. 50~54 | 5 |
| h. 55~59 | 3 |
| i. 60以上 | 1 |

5.4 あなたの組込みシステムの経験年数についてお聞かせください。

a. 2年未満	14
b. 2～4年	9
c. 5～9年	15
d. 10～14年	5
e. 15～19年	2
f. 20～24年	5
g. 25～29年	1
h. 30～34年	2
i. 35～39年	0
j. 40年以上	0

意見・提案